

板橋区基本計画 2025 等の進捗状況

基本目標	Ⅱ 「いきいきかがやく元気なまち」		
個別政策	Ⅱ-2 「心躍るスポーツ・文化」	(主な行政分野)	文化・スポーツ
10 年後の あるべき姿	中山道の宿場町として街道文化がはぐくまれてきた歴史や、国の重要無形民俗文化財にも指定されている徳丸や赤塚の田遊びなどの伝統を大切にしながら、古今東西の多様な文化芸術活動が活発に行われ、楽しみ、つなぎ、創造するまちが実現しています。 「もてなしの心」で言葉や文化の違いを認めあい、外国人とともに暮らしたり、多様に交流したりすることによって、様々な新しい価値や活力が生まれています。 スポーツを世界共通の文化として親しみ、様々な方法で楽しむことによって、健康で心豊かに暮らすことができるとともに、プロスポーツやトップアスリート、大学などによる地域に根差した活動が郷土に対する愛着と誇りを高め、まちに感動やにぎわいを生み出しています。		
当該分野の 主な個別計画	スポーツ推進振興ビジョン 2025、いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン 2025		

1 板橋区基本計画 2025 施策指標の達成状況

指標項目	当初値	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和5年度)	進捗状況
01 スポーツに親しむまちづくりの推進				
スポーツ施設の利用者（人）	191 万人 (H26 年度)	182 万人	160 万人	順調
週 1 回以上スポーツを行っている区民の割合（スポーツ実施率）（人）	49.1% (H29 年度)	70.0%	57.4%	
02 地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進				
文化財を活用した事業への参加率（人）	40.0% (H26 年度)	60.0%	81.8%	概ね順調
03 個性ある文化芸術の創造と活動の支援				
文化会館の施設稼働率（大ホール・小ホール）（人）	64.1% (H26 年度)	75.0%	78.6%	概ね順調
過去 1 年の間に文化芸術にふれた区民の割合（人）	79.8% (H29 年度)	100%	79.5%	
04 国際性豊かな地域社会づくり				
過去 1 年間で外国人とコミュニケーションがあった区民の割合（人）	36.5% (H27 年3月)	45.0%	51.5%	概ね順調
多文化共生推進イベント参加者数（人）	644 人／年 (H23～26 年平均)	6,600 人 (10 年間の累計)	4,312 人 (8 年間の累計)	
05 平和都市の推進				
平和啓発事業来場者の平和意識向上率（⇒）	93.6% (H27 年11月)	⇒	92.2%	順調
戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う区民の割合（人）	—	100%	92.6%	

【進捗状況の評語】

「順調」：計画どおりに進捗しており、目標達成が見込める状態。

「概ね順調」：進捗状況に課題はあるが、事業の継続により目標達成が見込まれる状態。

「停滞」：目標に対してあまり進展していない状態。

2 No.1 プラン 2018～2025 における実施計画事業の進捗状況

事業名	10 か年の目標量	平成 28～令和 5 年度実績	進捗状況
スポーツ先進医療によるアスリートへの支援	トレーニングプラン作成・トレーニング実施及び指導講演会開催 1 回 オリンピック選手等との交流	メディカルチェック 1 回 トレーニングプラン作成 2 回 トレーニング指導 6 回	令和 3 年度 計画事業完了
広域にわたる障がい者スポーツ大会の推進	広域にわたる障がい者スポーツ大会の開催	広域にわたる障がい者スポーツ大会の開催	平成 30 年度 計画事業完了
国家戦略特別区域法による道路法の特例 (エリアマネジメント) を活用した開催機運の醸成	国家戦略特別区域計画認定イベント開催	国家戦略特別区域の認定を受けたが、エリアマネジメントの活用を要しないイベント開催	平成 30 年度 計画事業完了
スポーツ施設の充実 (小豆沢スポーツ施設整備と東板橋体育館周辺スポーツ施設整備を統合)	体育館 改修 1 館、改修等に係る検討・調整 2 館 温水プール改築 1 か所 庭球場施設改築 2 か所	体育館長寿命化改修 1 館 (東板橋) 温水プール改築 1 か所 (小豆沢) 庭球場施設改築 2 か所 (小豆沢、東板橋)	順調
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業	東京 2020 大会に向けたイベント イタリアバレーボールチーム受入れに向けた準備 東京 2020 大会関連事業 東京 2020 大会レガシー事業	板橋区イタリアバレーボールチーム応援ボランティアの設置及び育成 (ボランティア養成講座の実施) 区ゆかりアスリートによるバレーボール教室の実施 2019 オリンピックデーラン板橋大会の実施 横断幕やバナーを用いた本庁舎、商店街等の装飾完了 小豆沢体育館ライトアップ照明設備の設置完了 チャレンジボッチャ in いたばし 2019 の実施 オリンピック教室の実施	令和 4 年度 計画事業完了
近代化遺産としての史跡公園整備	整備 1 か所	土壌汚染対策、工事用地取得、国史跡指定保存活用計画策定、整備基本計画策定、史跡指定地内建造物等調査、測量調査・発掘調査・アスベスト調査、樹木調査、耐震調査、米国公文書館資料調査	一部遅延等
旧粕谷家住宅の復元事業	放水銃・管理棟設置工事 環境整備工事 (隣地駐車場・駐輪場整備含む) 一般公開の再開	旧粕谷家住宅の復元 放水銃・管理棟設置工事完了 環境整備工事 (隣地駐車場・駐輪場整備含む) 完了 一般公開の再開	令和 3 年度 計画事業完了
植村冒険館の整備	植村冒険館の整備	植村冒険館の整備	令和 3 年度 計画事業完了
美術館の大規模改修	大規模改修	大規模改修	令和元年度 計画事業完了
多言語対応の推進	多言語対応に係る方針決定 多言語対応事業の実施	屋外案内標識及び施設整備に併せたサイン等の多言語化実施	平成 30 年度 計画事業完了

【進捗状況の評語】

「順調」：概ね計画に基づいた進捗が図られているもの。(7 割以上)

「完了」：計画策定当初の目標又は目的はすでに達成し、計画事業としての役割を終えたもの。

「一部遅延等」：計画事業量に一部遅延等が生じているもの。

「変更」：事業実績や方法等の見直しにより、計画事業外としたもの。

3 令和5年度区民意識意向調査の結果

調査内容		全体	30 歳代	40 歳代	中学生以下の 同居家族世帯
運動・スポーツの頻度（週に1回以上）		57.4%	53.0%	50.5%	48.0%
		全体	30 歳代	40 歳代	75 歳以上
過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術	第1位	映画・アニメーションなどのメディア芸術：52.9%	映画・アニメーションなどのメディア芸術：81.6%	映画・アニメーションなどのメディア芸術：70.4%	音楽：27.0%
	第2位	音楽：49.8%	音楽：62.5%	音楽：57.5%	映画・アニメーションなどのメディア芸術：19.1%
	第3位	美術・写真：22.8%	演劇・舞踏・舞踊：24.3%	美術・写真：26.9%	落語・漫談・歌唱などの芸能：16.4%
		全体			
過去1年間における、異なる国籍や文化を持つ方とのコミュニケーション	第1位	あいさつをした：27.9%			
	第2位	仕事で関わりがあった：21.6%			
	第3位	世間話をした：11.4%			
		コミュニケーションは全くなかった：41.2%			
平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについてどう思うか		大切だと思う：92.6%			

4 基本計画 2025 計画期間における社会環境の変化等を踏まえた対応

■外国人人口の増加を背景とした地域共生社会の実現に向けた取組

- 平成 31(2019)年 4 月に「改正出入国管理法」が施行され、新たな在留資格である「特定技能」が創設されるなど、外国人材の受け入れや地域での外国人との共生の重要度はより一層高まっています。
- また、令和 4 (2022)年度には、ロシア連邦によるウクライナ侵略を受けて、（公財）板橋区文化・国際交流財団と連携しワンストップ窓口を開設するなど、ウクライナ避難民への支援を行いました。
- 区の外国人における人口の動向をみると、外国人人口は、平成 22(2010)年までは緩やかな上昇傾向にありましたが、平成 23(2011)年以降、一時的に減少したものの、平成 26(2014)年以降、再び増加に転じて以降、急激な上昇局面を迎え、令和 2 (2020)年には、板橋区の総人口に占める割合が 5 %を超えました。新型コロナウイルス感染症拡大により外国人の入国制限が行われたことから、令和 3 (2021)から令和 4 (2022) 年にかけて減少に転じましたが、令和 5 (2023)年 5 月に新型コロナウイルス感染症に関する水際措置が終了したことにより、再び増加に転じ、令和 6 (2024)年には、約 5.7%となっています。
- このような状況の中、区では地域共生社会の実現をめざし、区との友好・姉妹都市交流事業の推進や窓口におけるタブレット画面对話型多言語通訳システムの配備、区ホームページの自動翻訳機能の搭載、日本語初期学習講座の実施など、各部署において国際関連施策を展開しています。
- 区の人口推計によると、令和 17(2035)年度の外国人人口の割合は総人口の 8.5%を超え、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。そのため、引き続き地域住民との相互理解を促進する取組を進めていく必要があります。



海外姉妹友好都市5都市紹介イベント

4 区民検討会の結果

【意見の概要】

10 年後のめざす姿	実現に向けて必要な政策	区民ができること
板橋で過ごすすべての人々がつながることのできるまち	①官民連携施設の開設・運営 ②自治会運営支援 ③NPO 設立・運営支援	①自治会やイベントへの参加 ②板橋を知る ③NPO を立ち上げる
板橋で過ごすすべての人々が安心して暮らせる安全なまち	①高齢者・子ども見守り ②皆の居場所づくり ③文化理解等の交流会	①あいさつ ②他者への気遣い ③互いを理解・尊重する心・姿勢
板橋ですごすすべての人々が持続的に発展していけるまち	①子育て支援、健康増進 ②シティプロモーション ③インフラ・公園・空地整備	①選挙へ行く ②区政に関心を持つ ③区と一緒に PR
コミュニケーション豊かで 10 年後も住んでいたいまち	①ワークショップの実施（例：料理教室、言語学習）	①地域行事の参加 ②ワークショップ参加
国際化したまち	①国際マーケットを作る	①あいさつをする ②ワークショップ参加
バリアフリーの進んだまち	①ユニバーサルデザイン （例：やさしい日本語、音声案内、ピクトグラムの多用、点字）	①手話教室などの教室に参加する
運動が活発でアート豊かな街づくり	①プロ活用（外部委託） ②毎日閲覧できる情報媒体 ③施設の新設（公園、図書館等）	①個人団体から区への広報活動 ②専門的なスキルの獲得
健康で皆が安全安心な街づくり	①公共施設の整備（歩道・運動施設） ②区イベント増（スポーツ、作る、見る、さわる機会を増やす） ③運動施設活用（室内・外）	①ゴミ拾い参加 ②イベントを考える会の参加
おいてきぼりをつくらない（全員参加）	①皆にやさしい地域コミュニティ（赤ちゃん～高齢者まで） ②補助金・助成金の活用	①近隣への声かけ（老人） ②飲み会主催（おもしろいやり会）
スポーツをしやすい区（まだスポーツをやっていない子どもがするきっかけ）	①指導者の充実（外部指導者） ②スポーツに適した公園の設置	①興味を持つ ②観戦する

～ 地域コミュニティ
共生・多様性社会 ～

グループ1

10年後のあるべき姿

利便性

持續可能性

実現に向けて必要な
政策と区民ができること

政策



～ 地域コミュニティ
共生・多様性社会 ～

グループ2

10年後のあるべき姿

実現に向けて必要な
政策と区民ができること 点字

点字

七

おもいやり

安心

認めあい

笑顔でいられる

つながり

若者が元気にまちを移住したくなる

交流

コミュニケーション豊かなまち

よりよい

国際化

文化施設の充実

ユニバーサルデザインの充実

あたらしさ

多文化共生のまち

交流の場づくり

交流ワークショップ

料理教室

言語習得支援

あーいうえー

A.B.C

国際化にまち

おーい

参加

手話教室

おはよう

こんにちは

交流の場づくり

おはよう

こんにちは

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.06.02

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.06.02

～心躍るスポーツ・文化～

3°-7°K

10年後のあるべき姿

パートが豊か

安全安全

111

実現に向けて必要な
政策と区民ができること

健康で“皆が”

MUSEUM

芸術家が活躍

公園

歩道の整備
自転車マナー

明るい学校
子どもが元気に

運動
運動施設活用
女子サッカーチーム

便利な町

健康

長生き
にちもゆたか

タテとヨコ
のつづばがい

全員参加!!

おいできぼりを
作らない

一緒にやろう!!

運動が活発で
アート豊かな街づくり

健康で皆が
安心安全な街づくり

- プロ活用
- 毎日閲覧できる情報媒体
- 施設の新設
- 公共施設の整備（舗道・運動施設）
- 区イベント（スポーツ）
- 運動施設の活用（室内・外）
- 個人団体から区への広報活動
- 専門的なスキルのかとく
- ゴミ拾い参加
- イベント考える会の参加
- 全員参加
- 皆にやさしい地域コミュニティ
- 補助金・助成金活用
- 近隣への声かけのみ会開催（おまじり会）

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.6.2

～心躍るスポーツ・文化～

7⁰4-ル7

10年後のあるべき姿

実現に向けて必要な
政策と区民ができること

日工

目玉になる

次期板橋区基本構想・基本計画の策定に向けた区民検討会 2024.6.2